

都学歯 歯 広報

目次

● インタビュー 役員人物探訪	2
● 地区学校歯科医学会からのメッセージ	3
● 葛飾区学校歯科医学会／文京区学校歯科医学会 (統) 卒業しました大好きな特別支援学校を	4
● 地区ニュース 足立／練馬／杉並／麻布赤坂・芝／ 麻布赤坂	5
● 平成27年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター コンクール」優秀作品の展示	6
● トピックス 第27年度健康づくりフォーラム／ 第66回関東甲信越静学校保健大会／作文審査会 ／平成27年度「歯・口の健康に関する図画・ポ スターコンクール」審査会／平成27年度城東地 区学校歯科医学会連合会役員連絡協議会／第79回 全国学校歯科保健研究大会／平成27年度プロッ ク別学校歯科医研修会	7
● 最近、気になること その7	8
● 学校給食を考える	9
● 第50回東京都学校歯科保健研究大会・予告	10
● 会務報告／計報	11

TOGAKUSHI KOHO



都内発祥地シリーズ ⑦⑧

『川柳発祥の地』

選者が「七七の前句（まえく）」を出題し、これに「五七五の付句（つけく）」を付けさせる遊びを「前句付（まえくづけ）」といったが、この前句を省略し「五七五」だけを独立させたものが川柳の元となったといわれる。江戸新堀端の天台宗龍台寺門前の名主だった「無名庵川柳」こと「柄井（からい）八右衛門」は1757年8月25日この土地で宗匠として初めて入選句を発表する興行を行った。

（所在地 台東区蔵前四丁目）

写真と文 関根正行

一般社団法人 東京都学校歯科医学会

〒102 東京都千代田区九段北4-1-20

-0073 TEL. 03-3261-1675

FAX. 03-3222-6528

<http://www.tasd.or.jp>

E-mail tasd@tasd.or.jp

発行人／鈴木 博

印刷／一世印刷株式会社

114

2015. 11

石川文一
監事

- ・ご出身は？
東京 銀座です。祖父の代から歯科医師で三代目になります。
- ・何人兄弟でいらっしゃいますか？
弟と二人兄弟です。
- ・子供のころはどのようなお子さんでしたか？
おとなしく、手のかからない良い子でした(笑)。
- ・子供のころは何になりたかったですか？
乗り物が好きだったせいか、電車の運転手でした。
- ・ご自身の性格はどのように思われますか？
楽天主義でいい性格だと思っています(笑)。
- ・ご家族は何人でどのような構成ですか？
家族は3人で妻と歯科医の娘です。
- ・ご趣味はなんですか？
体を動かすことと読書です。
- ・ストレス発散のためにすることなどありますか？
運動をして汗を流すことです。
- ・好きな本はありますか？
三木成夫に関する本です。専門の解剖学・生物学から保健・保育・教育の分野、さらに芸術・哲学・思想まで及んでいる、「人間生命の誕生」「胎児の世界」「内臓のはたらきと子供のころ」などです。
- ・座右の銘は何かありますか？
「生涯現役」です。快眠、快食、快便など気をつけ、体の感覚を大切に、健康な体で生涯現役として、やっていきたいと考えております。

- ・学生時代に何かクラブに所属されていましたか？

ハワイアンクラブではベースや司会をやり、ゴルフ部には所属していましたがあまり参加しておりませんでした。それと、大学4年のときに、何かをやりたいと思い落語研究会を立ち上げました。非常に優秀な後輩がいたのであれば指導者として活動しておりました。

- ・学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？

生涯にわたる恩師に出会えたことです。歯内療法で有名な大谷満先生や慶応大学の病理にいらした山口先生たちには、人生について教えていただきました。

- ・学校歯科医はいつごろから、どのような学校を担当されましたか？

昭和55年ころから中央区泰明小学校です。現在も担当しております。

- ・学校歯科医をしていて、うれしかったこと、楽しかったことなどありますか？

当初から隔月に全校児童に保健講話を話しているが、毎年3月には感謝の式が設けられており、児童全員から1年間聞いた講話の感想文をもらえます。特に6年生からの作文で、卒業して講話を聞けなくなることは残念ですが、これからも後輩のために講話を続けて欲しいと願われたときなどです。

- ・監事として、都学歯を見て、感じたこと、思うところをお聞かせください。

まだ、数か月ですが各役員が献身的に会務を執行しており感心しております。

- ・これから、都学歯にかかわらず、これから学校歯科医会として、やっていかなければならないことや、これからの課題などはありますでしょうか？

教育現場での活動で学校歯科医は人物や知識の優劣のみならず使命観や倫理観の高さによって評価されると思います。さらにその人が高い教育観や健康観を持ち合わせれば理想的な学校歯科医と言えるのではないのでしょうか。自分自身も高いレベルに目標を置いて日々研鑽をしております。

吉田慶造 監事



- ・ご出身は？
東京 世田谷です。
- ・何人兄弟でいらっしゃいますか？
姉，兄，私の三人兄弟です。
- ・子供のころはどのようなお子さんでしたか？
みんなを笑わせるようなひょうきんな子供だったと思います。
- ・子供のころは何になりたかったですか？
器械体操の選手でした。目立つのが好きだったんだと思います。
- ・ご自身の性格はどのように思われますか？
もしこうなったらどうしようとか，深く考えすぎるためなのか，けっこうネガティブな性格です。
- ・ご家族は何人でどのような構成ですか？
華道をやり，三味線教室に通う妻と整形外科医の息子とその嫁。
- ・ご趣味はなんですか？
クラシックやジャズコーラスなどの合唱とボウリングです。
コンサートに出たりもしますが，カラオケにも行きます。森進一の歌をよく歌います。
- ・ストレス発散のためにすることなどありますか？
もっぱら，オールディーズなどの歌うことです。それと，犬を連れての散歩ですかね。
- ・好きな本はありますか？
警察物の小説です。歯科医師会の事務局長に勧められて読んだのがきっかけです。お互いに貸し借りしながら読んでいたのですが，今ではすごい量の本が集まってしまいました。

- ・座右の銘は何かありますか？

座右の銘といいますか，「自分がされたら嫌なことを他人にしない」をモットーにしております。

- ・学生時代に何かクラブに所属されていましたか？

高校時代は生物部でした。大学では合唱部に入り，ベースに近いバリトンでした。

- ・学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？

合唱部の50人くらいの部員で山の方に行ってやった合宿とか，卒業旅行のときに友人4人でドライブ旅行をしたことなどです。

- ・学校歯科医はいつごろから，どのような学校を担当されましたか？

11年前から自分の出身校でもある世田谷区立山崎小学校を担当しております。

- ・学校歯科医をしていて，うれしかったこと，楽しかったことなどありますか？

「うちの孫が歯医者さんのことを作文に書いて文集に載ったのですよ」と言っておばあ様がそれを持ってきて見せてくれたことです。

- ・監事として，都学歯を見て，感じたこと，思うところをお聞かせください。

実に広範囲な事業を洩れなくやっているなと感心しております。これからも会員に後ろ指を指されるようなことが無いよう，気を引き締めていかねばと思っております。

- ・これから，都学歯にかかわらず，これから学校歯科医会として，やっていかなければならないことや，これからの課題などがありますでしょうか？

いかに，平準化した健康診断をやっていけるのか，会員の口腔内を診る眼をもっと養うために，色々な症例の写真集を作って配布できるとよいのではないかと考えております。

また，上部団体に問題が起こることが多いので，外部監査を入れるなどして下部組織に範を見せられるようにならないといけないと思います。

地区学校歯科医会からのメッセージ

葛飾区学校歯科医会

専務理事 高橋裕幸

ご存知「♪私、生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い、姓は車、名は寅次郎、人呼んで、フーテンの寅と発します。」また「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、人気サッカーマンガ「キャプテン翼」の作者である高橋陽一氏ゆかりのある場所で知られ、ボクシング元 WBC 世界フライ級王者の内藤大助選手の所属事務所もあったりする葛飾区学校歯科医会です。

葛飾区は人口約45万人で、23区の最も北東のはずれにあり、北は埼玉県三郷市、八潮市、東は千葉県松戸市に食い込むように隣接しています。区内の水元公園は、23区中でも最大規模の都立水郷公園です。葛飾は下町情緒の残る所ですが、近年金町地区には、東京理科大学葛飾キャンパスが開校し、さらに大型マンションが相次いで建築され再開発も進み近代的な街並みと新旧混在する地域ともなっております。

さて、葛飾区学校歯科医会は、歯科医師会とは別組織で会員数は184名（正会員183名 特別会員1名）です。このうち都学歯・日学歯入会者数は約半数ですが、これは葛学歯が私立の幼稚園・保育園（45園）とこども園（3園）の嘱託歯科医を含めた会員数によって構成されているからです。各施設数の内訳は、幼稚園・保育園117園、区立小学校50校、区立中学校24校、都立高校8校、特別支援学校等4校並びに葛学歯独自の福祉作業所9施設となっています。今年度より、都立特別支援学校の開校、保育園の多数開園が相次いでありましたが、廃校や閉園は特にありませんでした。

葛学歯の主な活動としましては、6月に行われる「よい歯の集い」が挙げられますが、この集いは今年度で47回目を迎えます。そしてこの集いでは、区内最大収容施設「葛飾区テクノプラザ大ホール」において、ご来賓として葛飾区長や都学歯会長をお招きし、参加者約600名の下で表彰式と講演会を行いました。また、当会では11月に保育士対象、1月に養護教諭対象とした指導者講習



会を行っております。2月には、葛学歯全体会が行われ、幼稚園・保育園より中学校までの歯科保健統計「無う蝕者数」「う蝕処置完了者数」「未処置歯者数」を集計しお知らせしております。また経年度歯科健診結果の推移とその考察を当会独自の方法で発表しております。さらに歯科健康診断時の留意事項および執務記録の記載について周知徹底を図っております。歯科健康診断の結果については、以前は担当理事が集計しエクセル入力しておりましたが、近年は葛飾区教育委員会学務課でエクセルの入力をして頂いております。

0～5歳児までの歯科保健統計では、男女別に乳歯の状況を「う歯のない者」「う歯のある者」「未処置歯のある者」「処置完了者」「乳歯のう歯総数」「処置歯数」「未処置歯数」を、4・5歳児（男女別）では、さらに永久歯の状況「永久歯萌出者」「永久歯う歯のない者」「永久歯う歯がある者（未処置者、処置完了者）」「永久歯の内容（健全歯数、処置歯数、未処置歯数）を、また小・中学校（男女別）では、「在籍者数」「受診者」「無う蝕者」「う蝕処置完了者」「未処置歯のある者」「CO所有者」「歯垢の状態」「GO者数」「G者数」を集計しております。

以上の歯科健康診断結果は、当会オリジナルDVD 学校歯科医 嘱託歯科医用 DVD 講話集『おしえて！歯医者さん』歯科保健便り『歯医者さんからのお便り』に、貴重な資料として会員に活用されております。

今後も、葛学歯では子供たちの健全増進のために学校歯科保健活動を推進して参る所存です。都学歯の先生方には、引き続きご指導ご鞭撻を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

文京区学校歯科医会

会長 土居 浩

文京区学校歯科医会は文京区内にある2つの歯科医師会（文京区小石川歯科医師会と文京区歯科医師会）からそれぞれ選出された学校歯科医41名が所属する団体です。2つの歯科医師会から1つの学校歯科医会を運営するという珍しい形態を取っています（区内の医師会も同様に2つの医師会を持ちますが、学校医部会とし、それぞれが文京区学校保健会に所属しています）。このため日頃は顔を合せたことも無い学校歯科医がそれぞれ5名ずつ役員として集まり（監事を含む）、各種事業に対応しています。このことは地域の学校保健に合同で共通の理念をもって対応できるという面ではよいのですが、年に何度かの役員会でしか意見交換の場もなく、また伝統的に歯科医師会内での考えに違いがあったり（学校保健及び学校歯科医に対する）と全てに同じ方向を向くのは難しいところでもあります。そんな中、会長、副会長は2年任期で持ち回りとし、最近では会則を変更し、外部役員として歯科医師会からの役員派遣をしていただき3つの会（両歯科医師会と学校歯科医会）の意見交換や連絡を密に取れるよう図っています。

年間の事業としては、関東甲信越学校保健大会、同歯科職域部会、全国学校保健研究大会、全国学校歯科医協議会、全国学校歯科保健研究大会、都学歯学校歯科保健基礎研修・学校保健研修会、東京都学校歯科保健研究大会などの地区外のものに参加しています。

また、地区では53回を迎えた“歯と口の健康づくり”の事業は、途中で何度か名称は変わりましたが先人達が築き、我々が継承しているものです。毎年6月初旬の“歯の健康週間”に教育委員会、文京区小石川歯科医師会、文京区歯科医師会そして文京区学校歯科医会が主催者となり、年度初めから実行委員会を開催し、幼稚園、小中学校関係者、養護会等と協議を重ね、時勢にならった一般区民向けの講演会を開催し、その後、小学校・幼稚園への「よい歯のバッジ」贈呈（事業に



理解協力をしていただいている私立幼稚園に対しても）、中学校へ対しての“個人表彰”，ある基準に沿った評価による“学校表彰”（幼稚園，小学校，中学校）を行っています。また“よい歯の図画・ポスター表彰”（これは各学校の美術の先生たちも選考に携わっていただいています）は表彰後には文京シビックセンター内ホワイエに掲示し、広く市民に対し周知，啓発を促しています。さらには，“ぼくの歯わたしの歯”と題した「歯の児童・生徒作文集」を作成し，表彰後は文集を作り，各学校，学校歯科医会会員へ配布を行い，各学校，歯科医師会，学校歯科医会一体となり児童，学童，生徒に対する啓発を行っています。

最近では文京区の災害時対策の一環として“避難所総合訓練”（年に4か所の小学校での訓練）の中に学校歯科医会も加わらせていただき，担当校での開催の場合の参加要請，また全般を理解するための役員派遣をしています。

さらには東京都学校歯科保健研究大会の開催が文京区シビックホールで開催されることが多いため，会場の確保，運営の手伝い等にも積極的に参加，協力をさせていただいています。

文京区は古くから「学問の府」として成り立ち，現在も沢山の教育機関が置かれています。歴史のある区立の幼稚園，小学校，中学校はもとより，国立の小，中学校，高等学校，私立の幼稚園，小学校，中学校，高等学校等。諸事業から文京区教育委員会，文京区学校歯科医会が直接的に関係を持ってない機関も沢山あり，同じ区内の学校に通うものとして同じように関係を持ち，連携を取れるようにしていくことも今後の課題と思います。

(続) 卒業しました 大好きな特別支援学校を



難波昭一（向島）

墨田区には、福祉保健センター内に「ひかり歯科相談室」（平成元年発足）という、障害児(者)専門の施設があります。毎週土曜の午後、地元歯科医師会会員が順番で当番となり、専任の歯科衛生士さん達が刷掃指導に当たります（水曜午後は歯科衛生士さんのみ）。

私は発足前の、準備委員会の時代から関与していましたが、治療無しの相談と指導だけでは意味がないと、区長さんに訴え続けていました。ところがスタートしてみますと“痛いことはされない”と言う口コミや、歯科衛生士さん達の熱意もあって、非常に評判が良いのです。つき添いの保護者からも“此处へ通うようになってから、子供達の笑顔が増えた”と言われるようになりました。

治療の必要なケースは、症状に応じて地元会員に依頼したり、墨東病院や飯田橋の都立心身障害者口腔保健センターへ紹介するシステムも作りました。数年前の事です、前歯がサホライドで真っ黒だった本校の女子高生を墨東病院へ紹介したところ、全麻下集中治療できれいな口元となり、別人のように明るくなった、と学校や家庭で評判になりました。校長先生や養護教諭、PTAを通じて、積極的に「ひかり歯科相談室」の利用を呼びかけています（余談ですが、この相談室は平成26年、東京都学校歯科医会保健功労者表彰を受けています）。

開校以来35年間、墨田特別支援学校に通っていて、“うちの生徒達は、喧嘩はあるけどいじめはない”と先生達やPTAの方々から何度も聴かされました。小中高、併せて3百人弱の学校ですが、本当にどの子も天使のようです（開校時は百人に満たない状態でした）。一生治らない（かも知れない）障害を抱え乍らも、不自由な手足を精一杯動かして作業や勉学に励む姿には胸を打たれます。

約4割の生徒達は、幼い時に診断が付いた時から、生涯に亘って服薬を続けなければなりません。まだ全てが解明されている訳ではありませんが、その蓄積作用は、全身のどこかに何らかの影響を与えている事でしょう。この子達を育てる親御さん達の御苦労も、きっと私共の想像の及ばぬものがあると思います。それでも、健康診断や講話以外に、入学式、卒業式、運動会等で子供達に接する度に、何故か心が洗われる思いが致します。“この子達に出会えてよかった、この学校の学校歯科医を務めて本当に幸せだ”と何度思ったことでしょう。

何年か前に、地元の学校歯科医10名程が、健康診断を見学させて欲しい、と言って来た事がありました。校長先生やPTAの了解を得て実施しましたが“こんなに大変だと思わなかった”“私の学校がどんなにうるさくても此处よりは楽だ”というのが先生方の感想でした。都立校は75歳定年制がある為、私は誰か後継者を、という想いがあったのですが、その事は伏せたままとなりました。

幸い、私の診療所を引き継いだ長男は、大学生の頃から時々健康診断や講話の助手をさせてきましたので、彼に後継ぎを任せることにしました（勿論、地元学校歯科医会と学校側の了解を得ております）。

本年3月、無事定年退職を致しました。振り返ってみますと、本校に通った35年、学校歯科医として過した延べ43年間は、大学や大学院、大学病院で学んだ20年とはまた異質の多くの教訓を私に与えてくれました。

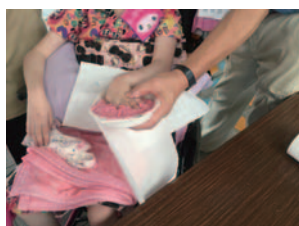
「障害の有る子も無い子も、生涯を通じて健全な口腔を持ち続けて欲しい」これが学校歯科医を卒業した私の終生の願いです。（終）

足立区障害者夏まつり

足立

毎年、足立区学校歯科医会の会員の先生が担当している城北特別支援学校で「足立区障害者夏まつり」が行われています。その際、足立区歯科医師会のボランティア活動として、来場した子供達の手の印象採得をした後、石膏模型にして渡してとても喜ばれています。今年も7月26日のとても暑い日に、会員10名が、事前準備から、受付、印象手練り、石膏つぎ、模型完成、折れた部分の接着と力を合わせて行いました。何年にもわたって活動しているのでだいぶ能率的になったのですが、やはり、初めての体験の子供はヒヤッとした印象材の感覚にビックリしますし、すぐ硬化するように手練りしていても待ち時間があるので、話をしながら一緒に硬化を待ちます。石膏も剥がしやすいようにかつ折れにくいように注ぎますし、それでも折れてしまったら、うまく瞬間接着剤でついたり、自然と得意分野での分業体制になります。何人もの先生がクーラーボックス持参で沢山の冷たい飲物を用意してくれますし、簡易冷却剤を配ってくれます。

正味5時間でしたが、日常の診療とは一味違う有意義な時間をすごすことができました。（奥野圭子）



平成27年度練馬区立小・中学校長と学校歯科医との研修協議会

練馬

平成27年9月17日（木）に小学校長との研修協議会が開かれ、森岡俊介先生の講演「子どもの虐待における歯科の役割」でむし歯は減ったが治療されていない等の特徴を教わり、校内では校長・養護の先生に連絡し、診療所では「189」へ通報する事とお話を頂きました。10月15日には中学校長との研修協議会が開かれ、郷家英二学術担当理事が「かむことの大切さ・



生涯おいしく食べるために」の講演を行い、「歯丈夫、胃丈夫、大丈夫」等の判り易い標語を使って歯科の大切さを伝えました。（河奈文彦）

第1回杉並区学校歯科医会講演会
—矯正治療を始める次期について—

杉並

本会では学校歯科医の知識向上の為に1年に2回、講演会と研修会を行っています。

今回、平成27年10月26日（月）杉並区歯科医師会館において、山口秀晴元東京歯科大学矯正学教授にご講演頂きました。形態と機能は密接な関係にあるとの冒頭の話からはじまり、様々な不正咬合の症例を元に悪習癖が形態に及ぼす影響を示しました。特に、形態に悪影響を与えるものとして、口腔機能時の不正、安静状態に生じる行為、口腔習癖、舌前方突出癖、吸唇癖、などの影響が大であるとのことでした。そこで、安静



位の舌位、口腔筋機能療法(MFT)、正しい嚥下の指導をすることによって、骨格性の不正咬合と思われるケースも不正咬合の改善があることが示されました。

最後に形態、機能、姿勢の三者の調和が大切であり、それらを正しくすると咬合の安定が獲得できると締めくくりました。（吉野勝久）

親子で縄文人に学ぶ歯と顎の健康 (港区麻布赤坂学校歯科医会・芝歯科医師会学校歯科医会合同学術講演会)

麻布赤坂・芝

平成27年10月19日(月)に一般にも公開して学術講演会を行いました。講師は国立科学博物館名誉研究員で人類学専門の馬場悠男先生です。自然の食生活をしてきた縄文人の頭蓋骨は下顎枝や下顎角・筋突起が大きく歯列は広がっています。日本人の顔と頭は弥生時代以降に急激に変化したそうで、シベリアの北方アジア人が日本列島に進入して渡来系弥生人になり、現代の本土日本人は縄文人3割・渡来系弥生人7割の混血ということでした。健康な顔と歯並びを取り戻す



めには歯ごたえのある食物を幼児の時から食べることが快感と思う食習慣が肝心で、学校給食を正課にし、スルメなどの硬く大きな食物が食べられたら「5」をあけて親世代の認識を変える必要があるのではという提言に思わず納得してしまいました。

(朝倉健太郎)

港区麻布赤坂学校歯科医会 基礎研修会開催報告

麻布赤坂

本会は、学校歯科医(保育園歯科医も含む)の健康診断の基準の統一化を図る目的で、毎年基礎研修会を行っております。本年度は平成27年10月16日(金)、本会事務所において開催されました。内容は、むし歯(C)の判定基準を確認した後、抜去歯を用い参加者全員が一歯一歯の判定を行います。そして、顎関節、歯列・咬合の判定基準やその他の疾病・異常についての説明を行っている間に、全員の抜去歯のCについての判定を集計いたします。集計したものをグラフ化し、自身の判定が参加者の中でどのような傾向にあるのか一人一人がチェックを行い、統一化を図ります。



近年、学校歯科医の入れ替わりや新規の保育園の増加で保育園歯科医も増え、新規の先生方が増加しましたので、本年度は保育園歯科医と学校歯科医から1名ずつ『私の活動』という報告も行ない、今後の学校歯科医活動の参考となるように研修会が行われました。

(清水浩一)

平成27年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」 優秀作品の展示

平成27年9月24日(木)に開催された標記審査会で優秀作品に選ばれた32作品を、新宿駅西口プロムナード・ギャラリーに下記のとおり展示致します。

展示期間：平成28年1月2日(土)から

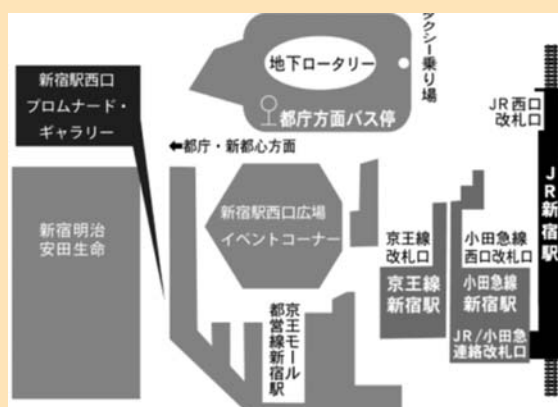
平成28年1月16日(土)まで

場所：新宿駅西口プロムナード・ギャラリー

新宿区西新宿1-9

(新宿駅西口地下ロータリー前・

明治安田生命ビル地下)



トピックス////

第27年度健康づくりフォーラム

平成27年7月30日（木）午前10時から東京都庁第一本庁舎5階大会議場で行われた。開会、挨拶に続き、昭和大学小児内科の田中大介先生による「気になることば、気づきにくいサイン」では、子供の疲れている様子、身体の不調、行動を読み取る上で他職種との連携の必要性を教えられた。不登校の原因の一つに起立性調節障害があることや、いじめの予防として、幼少期からいじめは理屈抜きに絶対的にいけないことと教え続け、いじめの温床を大人が作っていないか考える事の重要性がわかった。

特別発表は、学術担当の長井理事の「和の味を伝え



るための味覚の教室」で、幼少期からの味の体験の大切さが良く理解できた。

トピックス////

第66回関東甲信越静学校保健大会

平成27年8月27日（木）静岡県コンベンションアーツセンターで開催された。

午前中は、開会式と大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座特別任命教員の鈴木富雄教授による「健やかな毎を送るためには～総合診療医の立場から～」という演題で特別講演された。

夕方からは、ホテルセンチュリー静岡で、歯科職域部会が開催され、前岡山大学岡崎好秀先生「学校歯科医の立場から食育を考える」。沼津市立長井崎中学校の桑原聡学校歯科医による「食育と口腔は健全育成に



関するモデル事業について」という演題で講演された。

トピックス////

作文審査会

平成27年9月10日（木）15時より歯科医師会館2階会議室において本会役員及び会誌・広報委員会委員によって作文審査会第一次審査が行われた。応募者573名（小学生388名、中学生185名）で厳正な審査が行われた。



トピックス////

平成27年度「歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール」審査会

平成27年9月24日（木）歯科医師会館3階第一会議室において標記審査会が開催されました。審査員長に国立大学法人東京学芸大学理事・副学長（美術科教育学教授）増田金吾先生が選出され、18名の審査員により審査が行われました。

なお、受賞作品は市ヶ谷駅から歯科医師会館に向かう地下道の途中の「市ヶ谷プロムナード・ギャラリー」にて12月17日から30日まで展示しますので、会館にお越しの際はお立ち寄りください。また来年1月2日から16日まで「新宿西口プロムナード・ギャラ



リー」にて展示しますので、新年に新宿へお越しの際はぜひお立ち寄りください。

トピックス////

平成27年度 城東地区学校歯科医会 連合会役員連絡協議会

平成27年7月2日（木）19時より東武ホテルレバント東京 4F 錦の間において、向島学校歯科医会主管で標記協議会が40名の参加を得て開催されました。通常の各地区からの報告の後、今年は都学歯に講演依頼があり、「各ブロック地区別連絡協議会活動内容・味覚とおいしさの科学CDの紹介・日学歯、都学歯からのお願い」と題して、都学歯理事・酒井克典先生がパワーポイントを使用しての講演が行われました。



トピックス////

第79回全国学校歯科保健研究大会

平成27年10月29日、30日に長野駅から徒歩10分、紅葉が美しい「ホクト文化ホール」で開催されました。来年度の東京大会に向けて開会式前から見学させていただき、受付の運営、ポスター展示やホールへの動線等を写真、メモにとりました。

モンゴル医科大学歯学部客員教授である岡崎好秀先生の基調講演では、大きな口を開け、流し込み食ではなく、大きめの食材をよく噛んで食べることの重要性がよく理解できました。

都学歯のポスター発表は＜味覚の教室＞＜東京都島



しょ地区での学校歯科保健活動報告＞で、多くの参加者が興味深く読んでいました。

トピックス////

平成27年度ブロック別学校歯科医研修会

平成27年度ブロック別学校歯科医研修会が東京都教育委員会、東京都学校保健会、東京都学校歯科医会の主催で開催され、今年度は中央ブロック（台東区生涯学習センター）が9月10日、城東ブロック（足立区歯科医師会館）が10月8日、城西ブロック（歯科医師会館）が11月12日に開催されました

今年度の講演は、東京歯科大学生理学講座の渋谷義幸先生による「味覚とおいしさの科学－和の味を子供たちに伝えるために－」で、味覚とは味物質による特殊感覚であり、舌における味覚の受容に部位差はなく、味覚の獲得は生来の好き嫌いと後天的に獲得するものがあるということでした。また、旨味の認知は後

天的に獲得されるので味覚教育において旨味教育は重要である事がよくわかりました。



中央ブロック



城東ブロック



城西ブロック

学校給食を考える

学術担当理事 澤田 章司



東京都学校歯科医会では、学校歯科保健での“食育”の授業で活用していただくことを目的に『味覚とおいしさの科学』を平成26年3月に発刊いたしました。また時を同じくして平成25年12月に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。この本の中でも和食の素晴らしさを再認識していただきたく、日本の風土、文化、伝統などを含めて紹介しています。世界が注目する和食を子供たちに伝承する一助になれば幸いに思います。

このような折に、今、学校給食の在り方が俄かに脚光を浴びてきています。給食時間の短さが指摘されたり、米飯食と牛乳の組み合わせが問われたり、学校給食を完全米飯化する意見などもあります。一方で、米の生産調整、食料自給率の低下という農業・食料問題も見え隠れしています。

確かに戦後の栄養改善が至上命題であった給食と現在の飽食の時代の給食では意義が変わって当然です。和食ブームを一過性のものとしないうちにも学校給食の在り方を総括して、これからどのような食育をすべきなのかを真剣に考える時期に来ていると思います。

和食の良さは昨今のブームもあり多くのメディアで盛んに報道されています。また書店には和食本等も数多く並んでいます。しかしながら、相変わらず街にはファストフード店があふれ、若い親子連れで賑わっています。グローバルズの世の中で和食至上主義を掲げてあまり現実的ではありません。では、どのように和食の良さを広めて行くのか？ここで学校給食が大きな役割を果たすと思われます。

味覚が形成される幼児・小児期に様々な本当の味を体験することにより豊かな感性が育まれます。しかし残念ながら現代の日本では格差社会の広がりにより子供を取り巻く環境は千差万別で、保護者教育も頭打ちな面が多々存在します。子供の心身の健全な発育のために保護者への不断地努力は勿論必要ですが、まずは子供たち自身にしっかりと食の教育をするべきではないかと思います。色々なことを学び体験した子供たちが将来親になった時に少しでも食生活を改善してくれるよう望みを託して……です。

我々、学校歯科医は食育に関して具体的な改善策をアドバイスできる最も近い立場にあり、子供たちの健康の保持・増進により一層の力を注がなければならぬと感じています。食の崩壊を嘆く前に、今、学校給食を食べている子供たちは全国に約1,000万人もいる現実、そしてそこには大きなチャンスがあるのです。日本の将来を担う子供たちのために学校歯科医の先生方、ここでもう一肌脱ごうではありませんか。

朝食はパンにバター、ベーコンエッグ、サラダにドレッシング。昼食はハンバーガー、ポテトフライにコーラ。おやつにチョコやケーキ。夕食はピザ、スパゲティ、ハンバーグ、ポタージュスープ、サラダにマヨネーズ。夜食にポテトチップスにジュース。有ろうことか食事をスナック菓子で代用……。

目指す食生活の合言葉は“『カタカナ食』から『ひらがな食の和食』へ！”です。

第50回 東京都学校歯科保健研究大会

期 日 平成28年 3 月 10 日 (木) 13:30受付開始

会 場 文京シビックホール 大ホール

日 程 14:00 開 会

表 彰 式 学校歯科保健優良校入選校・学校歯科保健功労者・
学校歯科医30年勤続会員

14:30 歯の作文 優秀作品入選者表彰・発表・講評

図画ポスターコンクール画評・入選者表彰

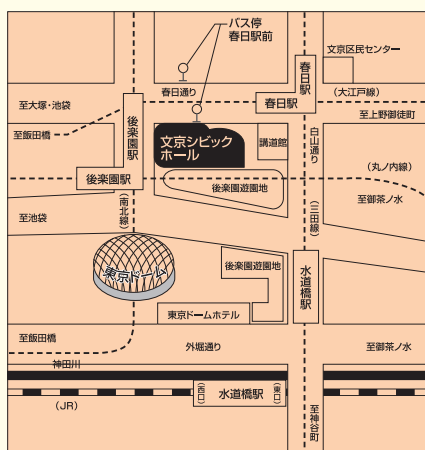
標語入選者表彰

15:30 研究発表 平成24・25年度 平成26・27年度 東京都学校歯科保健推進校(園)支援事業

16:30 特別講演 「クイズで語る おもしろ食育最前線」

講師 国立モンゴル医科大学 歯学部 客員教授 岡崎 好秀先生

17:30 閉 会



文京シビックホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

TEL 03-5803-1100

【最寄り駅】

- 東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅」 →4aまたは5番出口(徒歩1分)
- 東京メトロ南北線「後楽園駅」 →5番出口(徒歩1分)
- 都営地下鉄三田線「春日駅」(文京シビックセンター前)
- 都営地下鉄大江戸線「春日駅」(文京シビックセンター前)
→文京シビックセンター連絡通路(徒歩1分)
- JR中央・総武線「水道橋駅」 →東口(徒歩9分)

会 務 報 告

4/2(木) 会計閉鎖
第1回事業部会
4/6(月) 都歯附属歯科衛生士専門学校入学式
4/14(火) 会計打合せ
4/16(木) 第1回理事会
第1回会誌広報委員会
第1回学術部会
4/22(水) 第1回全国大会実行準備委員会
4/23(木) 第1回予算決算特別委員会
4/24(金) 第2回全国大会実行準備委員会
5/13(水) 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり
推進事業実施校連絡会
5/14(木) 監査会
第2回事業部会
東京都学校歯科保健推進校(園)
支援事業選定校連絡会
第1回学術研究委員会
5/15(金) 第3回全国大会実行準備委員会
5/21(木) 第2回理事会
第2回会誌広報委員会
6/1(月) 役員選挙候補者届出締切
選挙管理委員会 正・副委員長打合せ
6/10~11 島しょ地区学校歯科保健活動サポート
6/11(木) 第1回選挙管理委員会
第5回定時代議員会
第3回理事会
6/18(木) 第4回理事会
第1回参事会

会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
会館
中国飯店

6/25(木) 第3回会誌広報委員会 会館
第3回事業部会 会館
6/26(金) 第3回全国大会実行準備委員会 会館
7/2(木) 第5回理事会 会館
優良校表彰審査会 会館
城東地区連絡協議会 東武ホテルレバント東京
第1回学術研究小委員会 会館
7/3(金) 東京都立高等学校学校保健研究会役員連絡会 会館
7/23(木) 図画・ポスターコンクール審査方法打合せ
学芸大学
第4回全国大会実行準備委員会 会館
7/27(月) 第2回学術研究委員会 会館
7/30(木) 健康づくりフォーラム 都庁
8/27(木) 第66回関東甲信越静学校保健大会
静岡県コンベンションアーツセンター
第66回関東甲信越静学校保健大会歯科職域部会
ホテルセンチュリー静岡
中央地区連絡協議会 日月火

【訃 報】

杉 並 齋藤 尚則 (荻窪小学校) H26.10.9逝去
練 馬 鶴見 義信 (光が丘夏の雲小学校) H27.5.6逝去
江 東 長谷川健太郎 (江東区立深川第一中学校) H27.5.15逝去
麻布赤坂 小林 宏徳 (麻布小学校) H27.11.11逝去

上記の先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
致します。(敬称略)